

本資料は IAQG OPMT が作成した補足規定 003 を和訳したものである。日本語訳は参考和訳であり、英文と相違がある場合は、英文が優先される。



国際航空宇宙品質グループ (IAQG) 業界による認証制度管理チーム (OPMT)  
補足規定 003 –9100/9110/9120 : 2016 年版および 9101 : 2016 年版への移行のための規定  
発行日付 : 2016 年 10 月 12 日, 改訂 2018 年 4 月 17 日

#### 目的 :

この補足規定 (SR 003 と呼ぶ) は, 更新された 9101:2016 年版規格の使用を含む 9100/9110/9120:2016 年版の航空宇宙品質マネジメントシステム (AQMS) 規格への対応を容易にするように, 全てのステークホルダーに対する要求事項を提供するため制定される。この補足規定は, AQMS 規格の 2016 年版 (すなわち 9100/9110/9120) への移行に関して 2015 年 10 月の IAQG 総会で承認された期限日を支援するものである。

#### スコープ :

この補足規定は, 以下のステークホルダーに適用される。

- ・セクター管理委員会 (SMS)
- ・業界 (OP) 審査員
- ・認定機関 (ABs)
- ・審査員資格証明機関 (AABs)
- ・航空宇宙審査員 (AAs) 及び航空宇宙産業経験審査員 (AEAs) を含む資格証明された航空宇宙審査員
- ・研修提供者承認機関 (TPABs)
- ・研修提供者 (TPs)
- ・認証機関 (CBs)
- ・9100/9110/9120:2016 AQMS 規格の認証を希望する組織

#### 1. 一般的規定 :

- IAQG は, 国際認定機関フォーラム (IAF) により設定された移行期間を追認する。全ての ISO 9001 QMS 認証は, 2018 年 9 月 15 日までに 2015 年版規格に対して適合しなければならない (IAF ID 9:2015 参照)。
- 全てのステークホルダーは公開されたタイムライン (Appendix A 参照) 及び, この 9100/9110/9120;2016 年版への移行に関する補足規定への適合を, 確実にしなければならない。
- 新規申請者は該当する場合は, 認定, 認証, 承認, または, 資格証明されるための設定された要求事項に従うとともに, 要求に応じてこの移行のための補足規定に従わなければならない。

#### ステークホルダーの規定 :

#### 2. セクター管理委員会 (SMS)

- セクター管理委員会は, 移行の進捗状況を報告しなければならない。
- 各 SMS は承認された AB と移行業務を行うとともに, 2017 年 3 月 1 日までに, ISO/IEC17021-1:2015 へ移行していない全ての CB に関し, 2017 年 4 月 1 日までに, リスクとその軽減分析を実施しなければならない。

### 3. 業界 (OP) 監査員

- a. 業界 (OP) 監査員は、この補足規定に含まれる規格及び文書の知識を得ることを確実にしなければならない。

### 4. 認定機関 (AB)

- a. AB は、2016 年版に対する AQMS 認証に関する認定範囲の変更に関する要求事項について、ICOP スキームにおいて運用している認定した CB に対し、文書化された情報を、2016 年 11 月 1 日までに提供しなければならない。これには、CB 及び認証された依頼者 (組織) が、この SR-003 により設定された各期限日を遵守するのに十分な期間内に、CB の評価を実施するための AB の準備作業を含めなければならない。
- b. AB は以下の項目について CB の認定状況を監視すること。
  - i. 国際認定機関フォーラム (IAF) の参考文書 (ID) 11 : 2015 に記載されているように、IAF により設定された ISO/IEC17021-1:2015 年版の移行タイムラインは、2017 年 6 月 15 日までに達成されること。
  - ii. IAF ID 9 : 2015 に記載されているように ISO 9001 : 2015 年版への移行タイムラインは達成されること。
  - iii. CB の 9104-001 の認定は、9101:2016 年版規格の使用を含め、AQMS:2016 年版に対する依頼者 (組織) の認証を含むように、2017 年 6 月 15 日までに更新されること。9104-001 認定の更新は、9101 : 2016 版への ISO/IEC17021-1:2015 年版の要求事項の反映により、ISO9001:2015 年版の認証を付与する ISO/IEC17021-1:2015 年版に対する認定を達成した CB によるものでなければならない。
  - iv. 移行タイムラインを満足できない何らかの事態が発生した場合には、該当する AB によって適切な処置がとられなければならない。
  - v. AB は、CB の移行完了後 30 日以内に OASIS データベースを更新しなければならない。
- c. 各 AB は、それらを承認している SMS と協働して、2017 年 3 月 1 日までに ISO/IEC 17021-1:2015 に移行していない全ての CB に対して 2017 年 4 月 1 日までに、リスクとその軽減分析を実施しなければならない。
- d. AB の審査員は 該当する 9100/9110/9120 : 2016 年版規格及び 9101 : 2016 年版規格の研修を完了するまで、2016 年版による AQMS 認証に関する CB の評価を実施してはならない。

### 5. 審査員資格証明機関 (AAB)

- a. AAB は、資格証明された審査員から該当する全ての IAQG OPMT 認可移行研修を成功裡に修了したことを実証する証拠を受領後、OASIS データベース内の資格証明された AQMS 審査員について、規格の適切な版 (例えば 9100;2016 年版) を伴う、資格情報を更新しなければならない。
- b. (移行研修終了後の) AQMS 審査員の資格証明の有効期限日は、(移行研修終了前と) 同じ有効期限日を維持しなければならない。

### 6. 資格証明された AQMS 審査員 (AEA 及び AA)

- a. 現在資格証明されている全ての審査員は、審査員が資格証明されている全ての AQMS 規格 (すなわち、9100:2016, 9110:2016, 9120:2016 年版規格のうち該当するものについては

必ず) の IAQG 認可移行研修を成功裡に修了することが要求される。また、この認可された研修は 9101:2016 に関連するすべての移行研修を含むものでなければならない。

- b. 審査員は移行研修修了後、現在資格証明の責任を有する AAB に、要求された認可移行研修が成功裡に修了した証拠を提供しなければならない。
- c. 審査員は、9100/9110/9120 : 2016 年版に基づく認証審査を実施する前に 9100/9110/9120:2016 年版 AQMS 規格について AAB からの資格証明を得なければならない。

## 7. 研修提供者承認機関 (TPAB)

- a. TPAB は、公開された要求事項に従って承認された TP と研修コースの承認状況の運営管理を継続しなければならない。
- b. 現在の版の 9104-003 において、SMS の承認を要求している研修コースは、更新され SMS の再承認を得なければならない。

## 8. 研修提供者 (TP)

- a. TP は、(研修提供者としての) 最新の承認状況及び公開された要求事項に従って承認された研修コースの承認状態を維持しなければならない。
- b. 現在の版の 9104-003 において、SMS の承認を要求している研修コースは、更新され TPAB 及び SMS の再承認を得なければならない。
- c. TP は、以前の版の AQMS 規格の内容を含む SMS 承認研修コースを 2017 年 6 月 15 日より後に供給してはならない。

## 9. 認証機関 (CBs)

- a. ICOP スキーム下の CB は、以下の事項への適合を確実にしなければならない：
  - i. 国際認定機関フォーラム (IAF) の参考文書 (ID) 11:2015 として記載されているように、IAF により設定された ISO/IEC17021-1:2015 への移行タイムライン (即ち、期限は 2017 年 6 月 15 日) は達成されること。
  - ii. IAF ID 9:2015 に記載されているように、ISO 9001:2015 の移行タイムラインは達成されること。
  - iii. 9104-001 の認定範囲は、9101:2016 の規格の使用も含め、AQMS 規格の 2016 年版に対する依頼者 (組織) の認証を含むように、2017 年 6 月 15 日までに更新されること。
- b. 9100 : 2016 シリーズに関する 9104-001 (SJAC 9104-1) の認定範囲の変更を含め、ISO/IEC 17021-1:2015 への移行の準備に関する各日付の伝達は、2016 年 12 月 1 日までに CB によって AB へ OASIS フィードバックを経由して、連絡しなければならない。
- c. CB はこの SR-003 の要求事項に従い、移行及び移行の審査プロセスに対する要求事項に関する文書化された情報を、2016 年 12 月 1 日までに認証された依頼者 (組織) に提供しなければならない。
- d. CB は、自身の審査員及び認証の決定を行う要員がこの補足規定に含まれている要求事項を認識することを確実にしなければならない。
- e. CB は、2017 年 3 月 1 日までに、適用する AQMS 規格の 9100/9110/9120 : 2016 年版への移行に関する依頼者 (組織) の意向について、文書化された証拠を得なければならない。
- f. CB は、文書化された意向を、認証のための計画期間、審査チームに要求される力量及び認証の決定を実施するリソースを決定するため、申請レビューの一部として使用しなければならない。

ない。また、当該文書は現地及び現地外の審査工数算出に使用しなければならない。審査を実施する際の申請のレビュー、審査の工数計算及び正当性評価については、文書化しなければならない。

- g. 2017年6月15日より後には、AQMS規格の以前の版に基づく初回審査、サーベイランス審査及び再認証審査を開始してはならない。
- i. 但し、2017年6月15日より後であっても、移転に伴う特別審査、認証範囲の拡大、苦情及び不適合解決のための審査は適用できる版のAQMS規格で実施してもよい。
- h. 各CBはAQMS規格の2016年版に移行していない全ての依頼者（組織）に対し、移行期限が満たされること（移行期限内に移行が完了すること）を確実にするため2017年12月1日までにリスクとその軽減分析を実施しなければならない。
- i. CBは9104-001（SJAC 9104-1）に関する認定範囲がOASIS内で更新されるまでは、AQMS規格の2016年版による審査を実施してはならない。
- j. CBは移行審査の審査工数計算プロセスを設定し、各組織に対する文書化された情報を維持しなければならない。
- k. CBは各認証された組織に対して、現地審査工数について次のように計算しなければならない。
  - i. 該当するAQMS規格の2016年版への移行のための現地審査工数は、該当する審査に関する9104-001の要求事項（8.2.1.a項参照）から決定されなければならない。これに加えて下記が適用される。
    - 1. 改正されたAQMS規格に適合するように変更した組織のQMSを効果的に審査するため、CBはさらに現地審査工数を増加しなければならない。
    - 2. 審査工数は個々の認証組織に合わせて設定しなければならない。
    - 3. 移行の現地審査において0（ゼロ）時間の追加は認められない。
    - 4. 9104-001 8.2.a)項による切り上げは、すべての計算が終わった後にのみ実施すること。
  - ii. 特別審査を移行するために使用する場合、現地審査工数は、上記の要求の通り追加の審査工数を伴うサーベイランス審査工数でなければならない。
  - iii. 全ての追加の現地審査工数を含め、審査工数の計算は、文書化され、関連する現地審査工数の正当性を含まなければならない。
  - iv. 審査開始に先立ちCBは下記を実施しなければならない。
    - 1. 文書化された現地審査工数を顧客に伝達する。
    - 2. 現地審査工数に対する顧客の同意を得る。
    - 3. 現地審査工数と顧客の同意を文書化された情報として保持する。
  - v. 文書化され、正当化された現地審査工数は、AuditCalc報告書に含めるか、AuditCalc報告書にpdfファイルとして添付し、OASISデータベースに入力しなければならない。
- l. CBは、改正されたAQMSの要求事項について有効なプロセスに基づく移行審査が、9104-001（SJAC 9104-1）及び9101:2016の要求事項に従って完了されることを確実にしなければならない。
- m. サーベイランスあるいは特別審査においてAQMS規格の2016年版に基づく認証を発行する決定は、再発行の決定として取り扱われなければならない。3年間の認証サイクルは維持しなければならない。
- n. 再認証でない場合、CBは組織に、新たな3年間の認証サイクルを与えてはならない。

- o. 認証文書は、異なる版が混同した規格、あるいは整合していない版の規格（例えば ISO 9001:2015 版と AS9100C（EN9100:2009 年版または JISQ 9100:2009 年版と同等））を含めてはならない。
- p. 認証文書が 2016 年版以前の AQMS 規格に対して発行あるいは再発行される場合は、認証機関は、以下のオプションの一つに従わなければならない。
  - i. 認証文書上及び OASIS データベースの認証の有効期限は 2018 年 9 月 15 日を超えてはならない。
  - ii. 認証文書は、認証が 2018 年 9 月 15 日より後に無効となることを示す明確な記述を含めなければならない。
- q. CB は依頼者（組織）の認証の移転と移行審査を同時に実施してはならない。AQMS 規格の以前の版による認証の移転プロセス及び認証決定は、移行審査の開始前に完了しなければならない。新しい（受入先）CB への認証移転を完了するため、要求される特別審査の成功裏な完了後、（受入先 CB が）AQMS 規格の以前の版に対する認証文書を発行してもよい。
- r. CB は、認証の決定から 30 日以内に認証データを OASIS データベース内で発行することを確実にしなければならない。
- s. CB は、AQMS 規格の 2016 年版によるすべての審査について審査計画、9101:2016 様式の完成及び是正処置の管理に関する OASIS のオンライン機能を使用するプロセスを設定し、使用を開始しなければならない。AQMS 規格の 9100 : 2009 シリーズで実施された審査については、CB は従来の pdf アップロード機能を用いて OASIS Next Generation に要求されたデータを入力（掲載）する責任がある。
- t. 2018 年 9 月 15 日までに 9100/9110/9120:2016 年版に更新していない AQMS 認証は、有効期限切れとなる、あるいは、もはや有効でなくなる。IAQG OPMT レゾリューション#150 は、サーベイランスまたは再認証活動中に有効期限切れとなったか、もはや有効でなくなった証明書に対処するために、CB によって利用されることがある。

## 10. AQMS 規格の 2016 年版への認証を希望する組織

- a. AQMS の認証組織は 2017 年 3 月 1 日までに、9100/9110/9120:2016 年版 AQMS 規格への移行準備に関して（移行審査）の予定時期を設定するために、その組織の CB と連絡を取り合わなければならない。
- b. 2018 年 9 月 15 日までに 9100/9110/9120:2016 年版 AQMS 規格への移行を完了していない AQMS 認証はもはや有効でなくなる、あるいは有効期限切れとなる。
- c. 認証機関が 2018 年 9 月 15 日までに、現地での移行審査を既に開始し、OASIS データベース上での AQMS 認証文書の発行が 2019 年 3 月 15 日までに完了した場合、移行中の組織は移行を完了してもよい。（2018 年 9 月 15 日までに、）現地での移行審査が開始されていない場合は、認証は有効でなくなり、もはや移行には適格でなく初回認証審査が要求される。

Appendix A: 9100/9110/9120:2016 移行へのタイムライン

9100/9110/9120:2016 移行へのタイムライン サマリー

目標日	活動
2015年9月	ISO9001:2015規格発行及び36か月の認証組織の移行期間が開始
2015年10月	IAQG総会で9100/9110/9120:2016版認証移行計画を承認
2016年9月	アメリカ及びアジア・パシフィックセクターで9100規格発行
2016年10月	ヨーロッパセクターで9100規格発行 補足規定(SR003)発行
2016年11月	全3セクターで9101及び9120規格発行  9100に関する、必須の航空宇宙審査員「移行」研修コース(合意された言語による)運用開始
2016年12月	全3セクターで9110規格発行  OASIS Next Generationプロジェクト フェーズ1 完了。データベースへの移行審査結果入力可能
2017年1月	9110及び9120に関する、必須の航空宇宙審査員「移行」研修コース(合意された言語による)運用開始
2017年6月	これ以降の全ての審査は9101:2016版の審査プロセスによる 9100/9110/9120:2016版に基づく審査でなければならない。
2018年9月	移行完了。全ての9100/9110/9120:2009版の認証は無効となる。